

# 一心太助の天秤棒

## ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担で売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ

シリーズ/NO 158号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

### 駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期22年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4300日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTube の白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は293名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。



### 9月越谷市議会の初日、市長任期4年間の最後の市議会。

今朝の駅立ちは、北越谷駅東口で、通常通り午前5時50分からスタートした。市政レポートの配布を受けとる馴染みの市民からは、おはようございます、との何時もの声が掛かる。

午前7時30分頃背の高い黒人男性が、スマホをみながら、「バス停は、どこですか」とたどたどしい日本語で話し掛けられた。この駅のバス停は2か所あり、当然だが行先に応じてバス停が違っている。そこで私が、どちらにいかれるのですか、と尋ねた。あまり意味が通じなかったもので、再度尋ねた。すると持っていたスマホの画面に話す様に、うながされた。すぐに画面をみたのだが、何か御用ですかと日本語で表示された。生成AI機能なのだが、行先が不明な

こちらから話しかけようがない。するとこの黒人男性は、事態を理解したのかしないのか、私から離れていかれた。

しばらくして、今度は若い女性と話しながら、やはりスマホを見ていたが、今度はこの女性のものであり、遠くで聞き取りにくかったが英語での会話のようだった。そしてこの女性が笑顔で手をふって別れた後、この男性はバス停に歩いていかれた。気になったので私から、この女性にうまく行きましたか、と尋ねたら、はい大丈夫です、との返答。恐らくだがこの女性も外国人の様にみえた。早朝から少し心が温くなるようなシーンを見ることが出来た。

午前8時30分過ぎに駅頭が終了して、迎えに来た妻の車に街宣用具を積み込んで、直ぐに市役所に向かった。午前10時から9月議会が始まるからだ。今市議会で、福田晃市長の1期4年間の最後の議会となった。

ただ、通常どおり初日のこの日は冒頭、本会議場で市長提出議案25件の提案説明が市長から行われた。この議会が閉会すれば10月26日には市長選挙が実施される。

(9月1日・月曜日)

初めてのサッカー観戦・5万人を超える人間の渦の中でエネルギーの発散を見た



浦和美園駅の近くにある、さいたまスタジアムで対戦した、浦和レッズと鹿島アントラーズのサッカー試合を観戦した。これまでこのスタジアムの中に入ったことはなかったが、この試合は因縁試合と呼ばれているらしく、会場の収容人数は63700人だそうだが、ほぼ満席だった。これほどの、人間の集団をこれまで見たことはなく、またプロサッカーも初めて。更に鹿島アントラーズの応援団が赤いTシャツのため、浦和レッズ応援団も赤色で埋め尽くされており、会場一体は赤一色に。(裏に続く)

この試合に招待してもらったのは、同じ会派の斎藤議員からだ。斎藤議員は元Jリーガーのため、会場入り口に歩いて行くまでに試合関係者の何人もの人と、やー久しぶり、どうしてる、と気軽に話かける姿を見て、流石元プロサッカー選手と。そのため観戦中にやってはならないことは何ですか、と聞いたら、鹿島アントラーズの応援や拍手は絶体しない下さい、との返答だった。2時間10分の試合中は当然これを守ったが、私の席の同じ列には、なんとアントラーズを応援している市民がいて、しかも子どもと一緒にいたため少し心配だったが、無事最後まで観戦出来た。ただ試合結果は、0対1で浦和レッズの負けとなった。再三再四アントラーズのゴール前でシュートチャンスがあったのだが得点に至らなかった。浦和選手のキックが後30センチ中ならばゴールだったのだが、斎藤議員に聞いたら、鹿島のデフェンスがうまかった、との解説に納得した。

(9月20日・土曜日)

## 女子高校生2人と30分間も話し込んでしまった、朝の駅立ち

今朝の駅立ちは、新越谷駅西口で午前6時前から市政レポートの配布を開始した。5時40分頃駅に到着して、街宣用具の搬出、セットの後、駅前周辺の清掃作業を終えて配布開始。

午前7時30分頃2人の制服姿の女子高校生から、話かけられてた。ここで何をしているのですか、と聞かれたので、市議会や市政の報告をしています、と答えた。へーこんな朝早くから？そう市内6駅でもう22年間も毎日続けているよ、と。すげー私たちの生まれる前から、ずっと、と少し驚いた様子だった。この二人は埼玉県立常盤高等学校の2年生で将来は国家試験の資格を取得して看護師として働くため通学している、とのこと。でも今日は夏休みでしょう、なんでこの駅に、と尋ねた。えー、この子(二人に内の一人が)が、思いを寄せている男子学生(他高校生)に浦和駅で会うため駅構内で待っていたが、会えなかったそうだ。そこで、一日カラオケで楽しむかイオンレクタウン店に行こうと、思案中との返事だった。

その後、学校の部活や授業のことから、専門科の何をしたのか、彼氏とのあれこれ等話し込んでしまっただけで30分近くたっていた。看護師の仕事は資格を取るの前提だが、元々メンタル

が問われる職業の上に、近年社会構造が激変しているため外科だろうが内科だろうが人間のケアをすることになるため、しなやかで強靱な精神が必要とされる、との思いは二人には言わなかった。きっと経験することになるだろうから。がんばれ、看護学生！との声援を心で送った。

(9月22日・月曜日)

## 宇都宮ライト(路面電車)が町の構造を変える。コンパクトシティのモデルに



pixta.jp - 98425371

全国市長会が主催した第87回全国都市問題会議が、宇都宮市で開催され参加して来た。

2日間にわたり講演会が続いたが、特に主報告の「人口減少社会に対応する都市の構造改革—100年先も展開できる“ネットワーク型コンパクトシティ”の形成—」のテーマの講師宇都宮市長の佐藤栄一氏の話に強烈な印象を受けた。

全国には、路面電車が走行している17の市があるがその中では、この宇都宮市のLRT有名だ。特に公共交通の一手段としての路面電車の採用という枠組みではないことが極めて先進的な取り組みとなっている。全ての施策は、「次世代のこどもたちために」のスローガンが通底している。目指すべき社会を①地域共生社会②地域経済循環型社会③脱炭素社会、としていて、この3つの社会が融合することを条件としている。

この三つ社会は、どこの自治体でも総合振興計画の中には必ず表現されている言葉であるのだが。実際は越谷市を含めて、多くの自治体には50年後、ましてや100年後の社会を想定などしてはいなし、発想さえないだろう。

更に、ネットが社会の必須アイテムとなりそれぞれの組織体の関係性の在り方や情報収集や判断が困難な時代が入っている。

政治家は、今は不評でも100年後の社会を創造し、そのため施策を実行する勇気が必要だ。

(10月9日、10日・木曜日、金曜日)